

清須市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

<計画骨子案>

1 目次 (案)

第1章 計画策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨とポイント
- 2 計画の位置づけ
- 3 他計画との関係
- 4 計画の期間

第2章 高齢者を取り巻く現状と課題

- 1 高齢者の現状と将来推計
- 2 要介護認定者等の状況
- 3 介護保険事業の状況
- 4 第8期計画の評価
- 5 アンケート調査に見る高齢者の現状

第3章 計画の基本的な考え方

- 1 計画の基本理念
- 2 日常生活圏域と圏域別の現状
- 3 計画の基本目標と体系

第4章 施策の展開

- 1 ふれあいがあり人にやさしいまち
- 2 元気が出る健康なまち
- 3 安全で安心なまち
- 4 介護保険制度の円滑な実施

第5章 介護サービス等の実施目標

第6章 計画の推進と評価

第1回策定委員会

第2回以降

第1章 計画策定にあたって



1 計画策定の趣旨とポイント

計画策定の趣旨

本市の 65 歳以上の人口は、2023（令和5）年9月1日現在で 16,178 人となっており、2021（令和3）年をピークに少しずつ減少しはじめています。この傾向は将来的にも続く可能性が高いため、高齢者の現状とニーズを踏まえ、本市に必要なサービス提供体制を構築していくことが必要となります。

本市では 2021（令和3）年3月に「清須市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定しました。計画では、2025年・2040年を見据えた計画づくり、地域共生社会の実現、介護予防・健康づくり施策の効果的な推進、認知症施策推進大綱等を踏まえた認知症施策の推進、災害や感染症対策に係る体制整備をポイントに掲げ、施策を進めてきました。

第9期計画では、国が掲げる方向性を踏まえて、介護サービス基盤の計画的な整備、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組、地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上などをポイントに計画を策定し、各種施策を進めていきます。

(1) 介護サービス基盤の計画的な整備

①地域の実情に応じたサービス基盤の整備

- ・ 介護サービス基盤を計画的に確保。医療・介護の連携強化も必要
- ・ 需要見込みの事業者・関係者との共有も必要

②在宅サービスの充実

- ・ 地域密着型サービスの更なる普及の検討、新たな複合型サービスの創設・整備の検討

(2) 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組

①地域共生社会の実現

- ・ 地域住民や多様な主体による介護予防や日常生活支援の取組を促進、総合事業の充実
- ・ 地域包括支援センターの負担軽減・体制整備、重層的支援体制整備事業における包括的な相談支援
- ・ 認知症施策の推進

②医療・介護情報基盤の整備

- ・ 介護情報等の収集・提供等に係る事業を地域支援事業に位置付け（R6.4.1施行）

③保険者機能の強化

- ・ 給付適正化事業の重点化・内容の充実・見える化

(3) 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上

- ・ 介護サービス需要は高まり、生産年齢人口は減少。介護人材確保が厳しくなると想定
- ・ 介護人材確保の取組の総合的な実施
- ・ 介護現場の生産性向上の取組の一層の推進
- ・ 介護サービス事業者の財務状況等の見える化（経営情報の調査、財務状況等の公表）

第1章 計画策定にあたって



2 計画の位置づけ

本計画は、高齢者全体の保健・医療・福祉の施策全般を定める高齢者福祉計画と、介護保険事業についてそのサービス見込み量等を定める介護保険事業計画を一体的に策定するものです。

高齢者福祉計画

高齢者福祉計画は、老人福祉法第20条の8の規定に基づく計画であり、基本的な政策目標を設定するとともに、その実現のために取り組むべき施策全般を盛り込んでいます。

介護保険事業計画

介護保険事業計画は、介護保険法第117条の規定に基づく計画であり、要支援・要介護者の人数、介護保険の給付対象となるサービスの利用意向等を勘案し、介護保険の給付対象となるサービスの種類ごとの量の見込み等を定める等、介護保険事業運営の基礎となる事業計画であり、国の「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針」に基づき策定するものです。

第1章 計画策定にあたって



3 他計画との関係

本計画は、本市の最上位計画である「清須市総合計画」の個別計画として、高齢者福祉等を推進する計画であり、「愛知県高齢者健康福祉計画」や「愛知県地域保健医療計画」との整合性の確保とともに、障害福祉計画その他の関連計画との調和が保たれたものとしています。

第1章 計画策定にあたって



4 計画の期間

本計画の期間は、2024（令和6）年度から2026（令和8）年度までの3年間とします。

また、この計画には、団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040（令和22）年までの中・長期的な見込みを記載しています。

令和 3年度 (2021)	令和 4年度 (2022)	令和 5年度 (2023)	令和 6年度 (2024)	令和 7年度 (2025)	令和 8年度 (2026)	令和 9年度 (2027)	令和 10年度 (2028)	令和 11年度 (2029)
第8期計画 2021～2023			第9期計画 [※] 2024～2026			第10期計画 2027～2029		

※2040年までの中長期的な状況を踏まえて策定



1 高齢者の現状と将来推計

1-1 高齢者人口の推移（実績）

清須市の人口は近年増加傾向にありましたが、2021（令和3）年をピークに減少に転じ、2023（令和5）年9月1日時点の人口は68,996人となっています。

高齢者人口（65歳以上）も増加傾向にありましたが、2020（令和2）年以降は横ばいで推移しています。一方、後期高齢者人口（75歳以上）は増加し続けています。2023（令和5）年の高齢者人口は16,178人、高齢化率は23.4%となっています。

国勢調査を基に算出した2023（令和5）年の高齢化率を他の地域と比較すると、本市の高齢化率は長久手市・日進市より高く、国・県及びその他の周辺市より低くなっています。

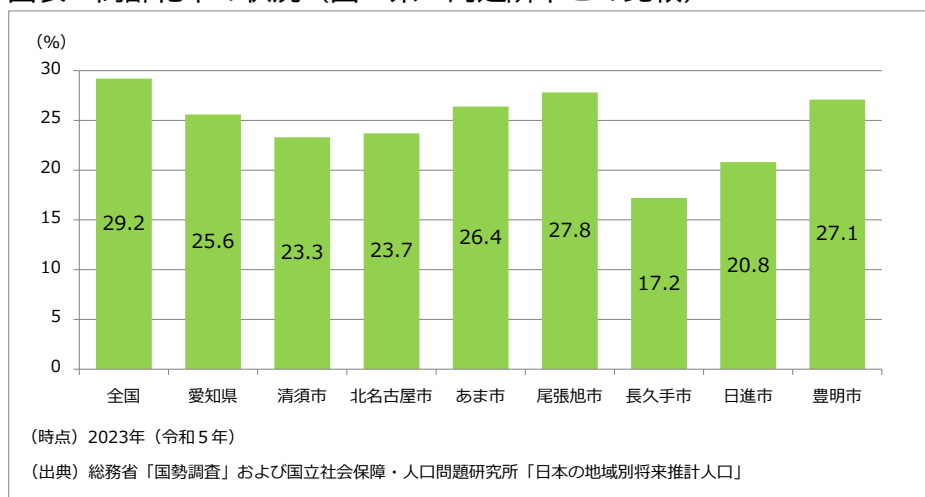
図表 清須市の年齢別人口の推移

(人、%)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
総数	68,914	69,257	69,390	69,413	69,132	68,996
0～14歳	10,126 14.7	10,189 14.7	10,226 14.7	10,065 14.5	9,941 14.4	9,751 14.1
15～64歳	42,748 62.0	42,946 62.0	42,950 61.9	43,095 62.1	43,009 62.2	43,067 62.4
65歳以上	16,040 23.3	16,122 23.3	16,214 23.4	16,253 23.4	16,182 23.4	16,178 23.4
65～74歳 (再掲)	8,147 11.8	7,986 11.5	7,923 11.4	7,948 11.5	7,584 11.0	7,263 10.5
75歳以上 (再掲)	7,893 11.5	8,136 11.7	8,291 11.9	8,305 12.0	8,598 12.4	8,915 12.9

(出典) 住民基本台帳（各年10月1日時点） ※2023年のみ9月1日時点

図表 高齢化率の状況（国・県・周辺隣市との比較）



1-2 高齢者人口の将来推計

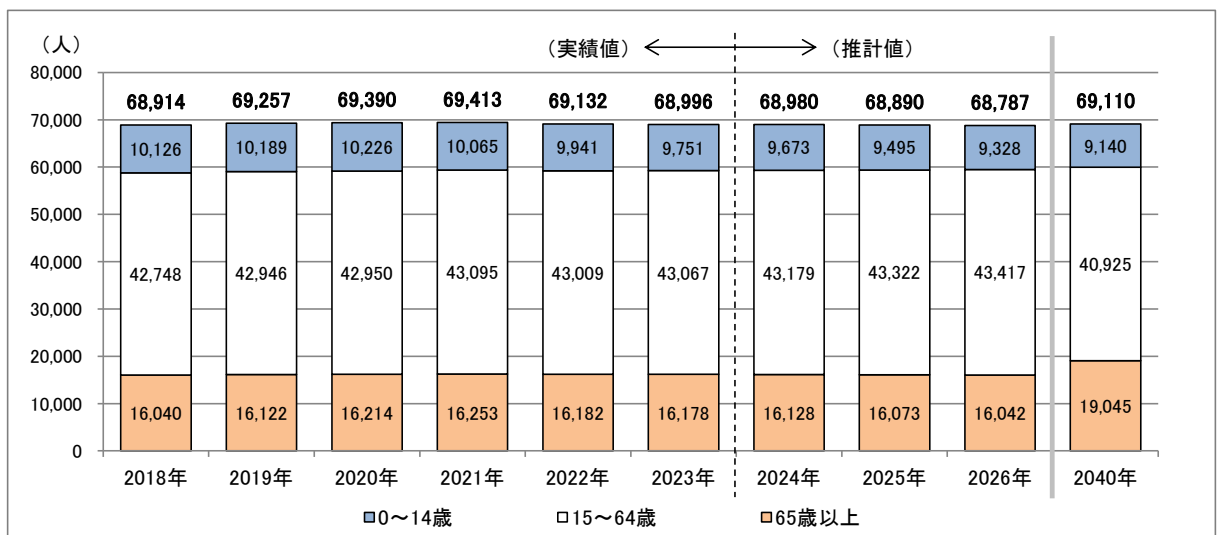
2026（令和8）年までの将来人口推計では、人口は引き続き緩やかに減少していくことが見込まれます。一方、高齢者人口も2026（令和8）年までは緩やかに減少していくことが見込まれますが、後期高齢者人口は引き続き増加していくことが見込まれます。

図表 清須市の年齢別人口の将来推計

	2024年	2025年	2026年	2040年
総数	68,980	68,890	68,787	69,110
0～14歳	9,673 14.0	9,495 13.8	9,328 13.6	9,140 13.2
15～64歳	43,179 62.6	43,322 62.9	43,417 63.1	40,925 59.2
65歳以上	16,128 23.4	16,073 23.3	16,042 23.3	19,045 27.6
65～74歳 (再掲)	6,914 10.0	6,658 9.7	6,518 9.5	9,173 13.3
75歳以上 (再掲)	9,214 13.4	9,415 13.7	9,524 13.8	9,872 14.3

2024～2026年：実績値（住民基本台帳）を基にコーホート要因法を用いた推計値
2040年：清須市総合計画における推計人口

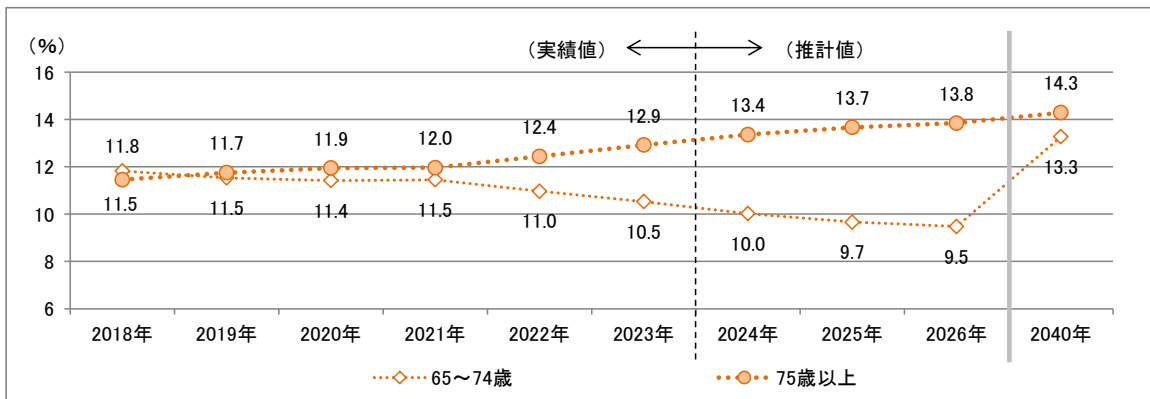
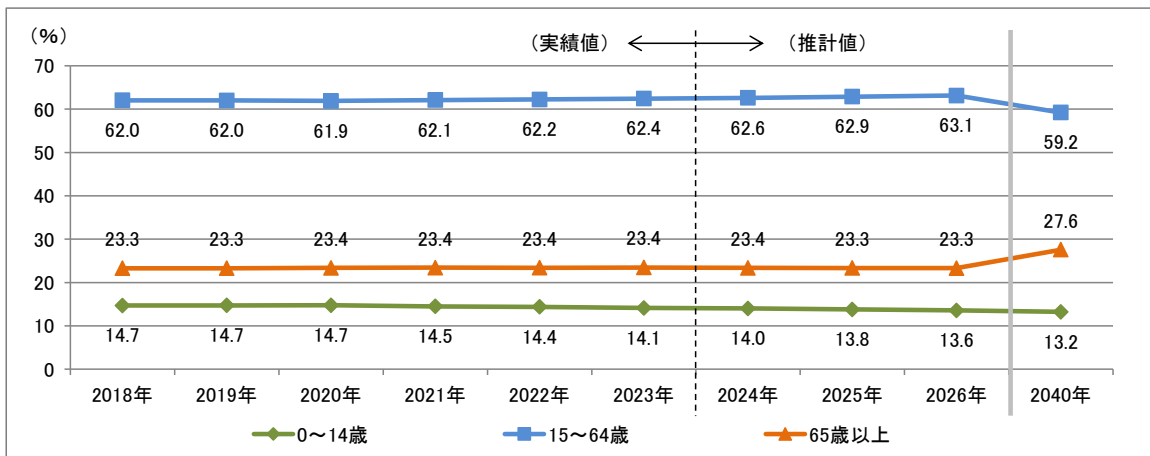
図表 清須市の年齢別人口の推移と将来推計



(出典) 実績値：住民基本台帳（各年10月1日時点） ※2023年のみ9月1日時点
推計値：2024～2026年：実績値を基にコーホート要因法を用いた推計値
2040年：清須市総合計画における推計人口

年齢別人口割合の推移と将来推計をみると、2026（令和8）年までは生産年齢人口（15～64歳）の割合は少しずつ上昇し、高齢者人口（65歳以上）の割合は横ばいに推移することが見込まれますが、高齢者人口のうち後期高齢者人口（75歳以上）の割合が大きく上昇することが見込まれます。また、2040（令和22）年では前期高齢者人口（65～74歳）の割合が大きく上昇し、高齢者人口全体の割合も2026（令和8）年から大きく上昇することが見込まれます。

図表 年齢別人口割合の推移と将来推計



(出典) 実績値：住民基本台帳（各年10月1日時点） ※2023年のみ9月1日時点
 推計値：2024～2026年：実績値を基にコーホート要因法を用いた推計値
 2040年：清須市総合計画における推計人口

1-3 高齢化の進行状況

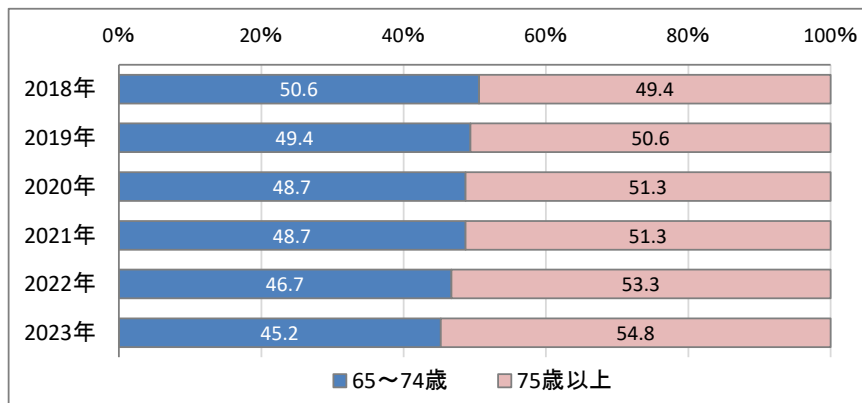
第1号被保険者のうち、前期高齢者の割合は減少傾向、後期高齢者の割合は増加傾向にあり、2019（令和元）年以降は後期高齢者が前期高齢者を上回っています。

他の地域と比較すると、市の後期高齢者の割合は国・長久手市より高く、県及びその他の周辺市より低くなっています。

図表 前期・後期別 65歳以上被保険者数の推移

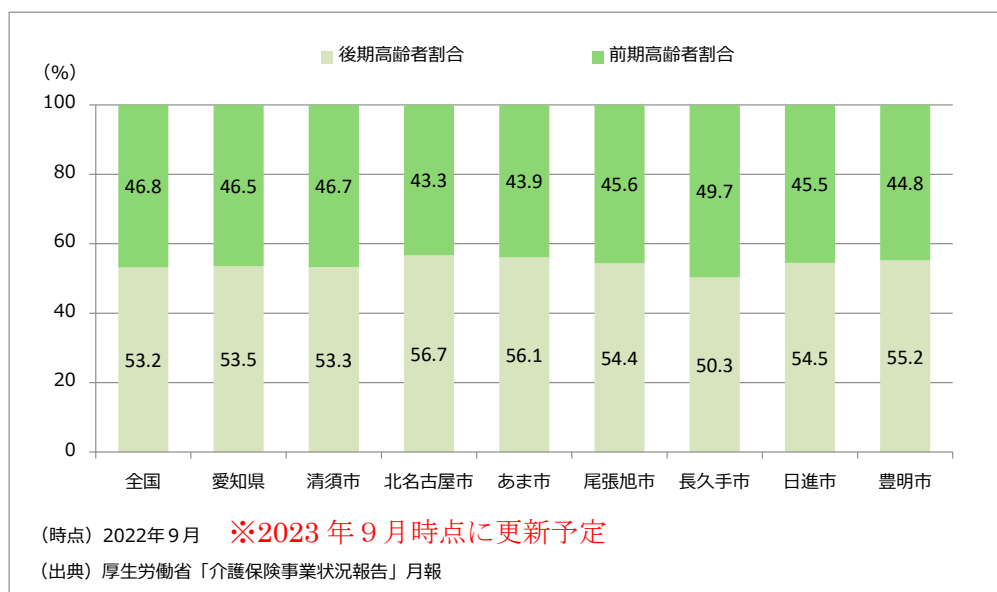
上段：人、下段：%

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
第1号被保険者数	16,108	16,179	16,283	16,321	16,251	16,242
前期高齢者 (65～74歳)	8,146 50.6	7,989 49.4	7,930 48.7	7,950 48.7	7,582 46.7	7,349 45.2
後期高齢者 (75歳以上)	7,962 49.4	8,190 50.6	8,353 51.3	8,371 51.3	8,669 53.3	8,893 54.8



(出典)「介護保険事業状況報告」月報（各年9月末時点） ※2023年のみ5月末時点

図表 前期・後期別高齢者割合<国・県・周辺市との比較>



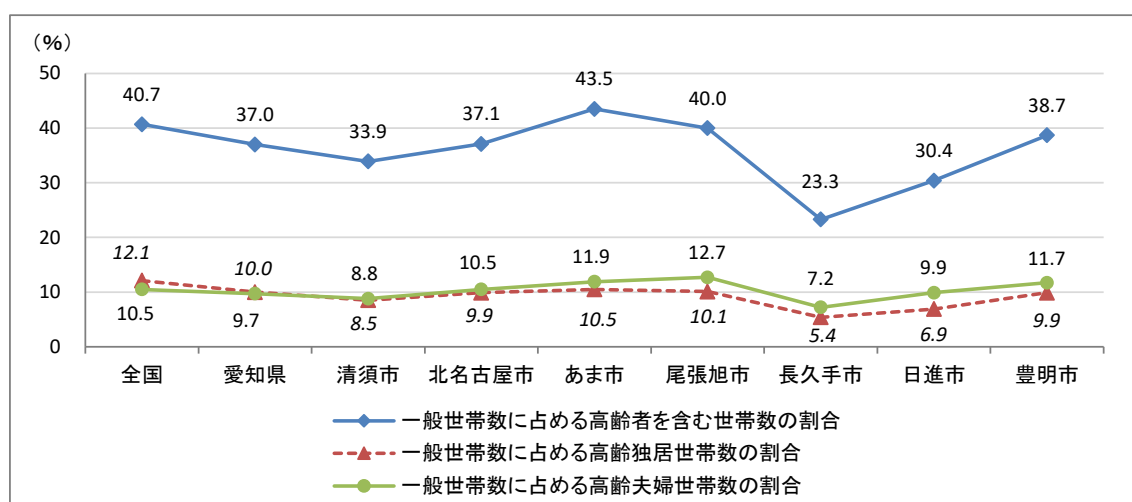
1-4 高齢者世帯の状況

清須市の「高齢者を含む世帯」は、2020（令和2）年で9,804世帯であり、一般世帯の33.9%を占めています。高齢独居世帯は一般世帯の8.5%、高齢夫婦世帯は一般世帯の8.8%をそれぞれ占め、両者を合わせた「高齢者のみの世帯」は一般世帯の17.3%を占めています。また、65歳以上人口に占めるひとり暮らし高齢者（高齢独居世帯と同数）の割合は16.2%となっています。

他の地域と比較すると、市の高齢者を含む世帯の割合及び高齢独居世帯の割合は長久手市・日進市より高く、国・県及び他の周辺市より低くなっています。また、高齢夫婦世帯の割合は長久手市より高く、国・県及び他の周辺市より低くなっています。

図表 高齢者世帯の状況<国・県・周辺市町との比較>

	全国	愛知県	清須市	北名古屋市	あま市	尾張旭市	長久手市	日進市	豊明市
一般世帯数	55,704,949	3,233,126	28,907	36,085	34,012	33,925	26,278	36,416	29,069
高齢者を含む世帯数	22,655,031	1,197,268	9,804	13,391	14,809	13,574	6,111	11,072	11,236
高齢独居世帯数 (ひとり暮らし高齢者数)	6,716,806	323,796	2,461	3,574	3,585	3,425	1,427	2,528	2,868
高齢夫婦世帯数	5,830,834	313,172	2,531	3,789	4,035	4,306	1,904	3,602	3,399
一般世帯数に占める高齢者を含む世帯数の割合	40.7	37.0	33.9	37.1	43.5	40.0	23.3	30.4	38.7
一般世帯数に占める高齢独居世帯数の割合	12.1	10.0	8.5	9.9	10.5	10.1	5.4	6.9	9.9
一般世帯数に占める高齢夫婦世帯数の割合	10.5	9.7	8.8	10.5	11.9	12.7	7.2	9.9	11.7
65歳以上人口に占めるひとり暮らし高齢者の割合	19.0	17.4	16.2	17.2	15.6	15.9	14.5	14.0	15.8



(出典) 国勢調査 (2020 年)



2 要介護認定者等の状況

2-1 認定者数の推移（実績）

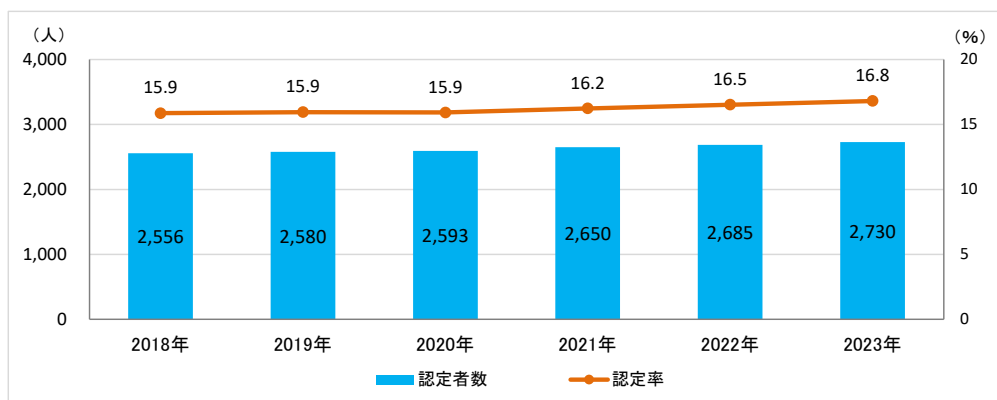
清須市の認定者数^{*}の推移をみると、近年は増加傾向にあり、2023（令和5）年5月末時点で2,730人となっています。要介護度別でみると、要支援1・要介護1は概ね減少傾向にありますが、他の要介護度では概ね増加傾向にあり、特に要支援2・要介護2・要介護5の伸びが大きくなっています。

認定率の推移をみると、2020（令和2）年までは15.9%で推移していましたが、2021（令和3）年以降は上昇傾向にあり、2023（令和5）年5月末時点で16.8%となっています。国・県と比較すると、市の認定率は依然として国・県より低い水準で推移しています。

図表 要介護度別認定者数及び認定率の推移

(人)

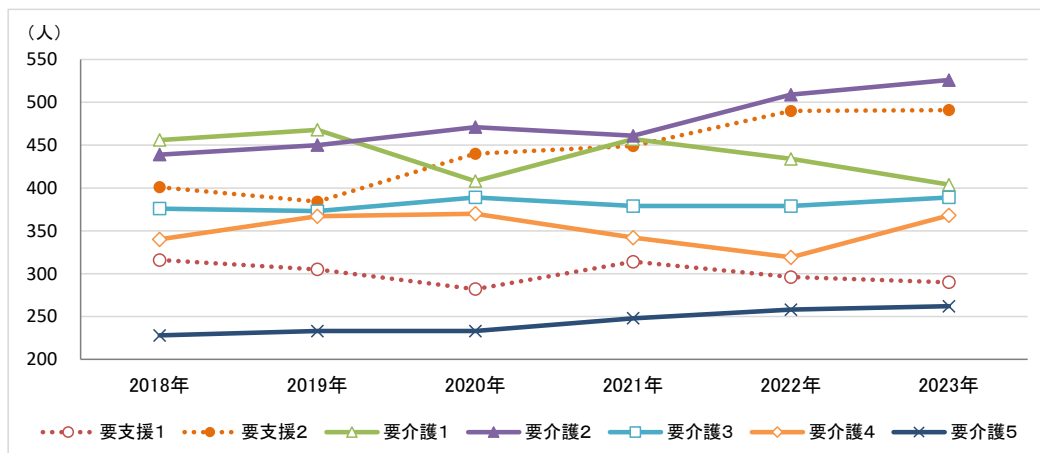
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
要支援1	316	305	282	314	296	290	
要支援2	401	384	440	449	490	491	
要介護1	456	468	408	457	434	404	
要介護2	439	450	471	461	509	526	
要介護3	376	373	389	379	379	389	
要介護4	340	367	370	342	319	368	
要介護5	228	233	233	248	258	262	
認定者計 (A)	2,556	2,580	2,593	2,650	2,685	2,730	
高齢者計 (B)	16,108	16,179	16,283	16,321	16,251	16,242	
認定率 (A/B)	清須市	15.9%	15.9%	15.9%	16.2%	16.5%	16.8%
	愛知県	16.7%	17.0%	17.1%	17.5%	17.7%	
	全国	18.7%	18.8%	18.9%	19.2%	19.4%	



(出典)「介護保険事業状況報告」月報（各年9月末時点） 2023年のみ5月末時点

※認定者数は第2号被保険者を含まない

図表 要介護度別認定者数の推移



(出典)「介護保険事業状況報告」月報(各年9月末時点) ※2023年のみ5月末時点

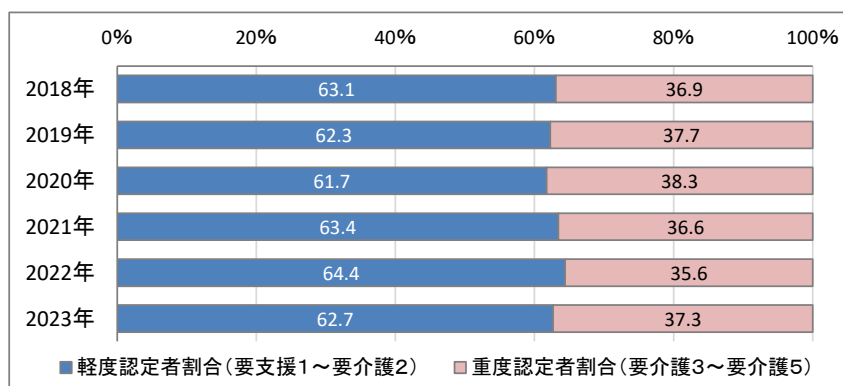
2-2 重度化の状況

認定者数[※]の推移を軽度(要支援1～要介護2)・重度(要介護3～要介護5)の別で見ると、2023(令和5)年で認定者に占める軽度認定者の割合は62.7%、重度認定者の割合は37.3%となっています。重度認定者の割合は37%前後で増減を繰り返しながら推移しています。

図表 重度・軽度別認定者数及び認定率の推移

(上段:人、下段:%)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
認定者計	2,556	2,580	2,593	2,650	2,685	2,730
軽度認定者 (要介2以下)	1,612	1,607	1,601	1,681	1,729	1,711
	63.1	62.3	61.7	63.4	64.4	62.7
重度認定者 (要介3以上)	944	973	992	969	956	1,019
	36.9	37.7	38.3	36.6	35.6	37.3

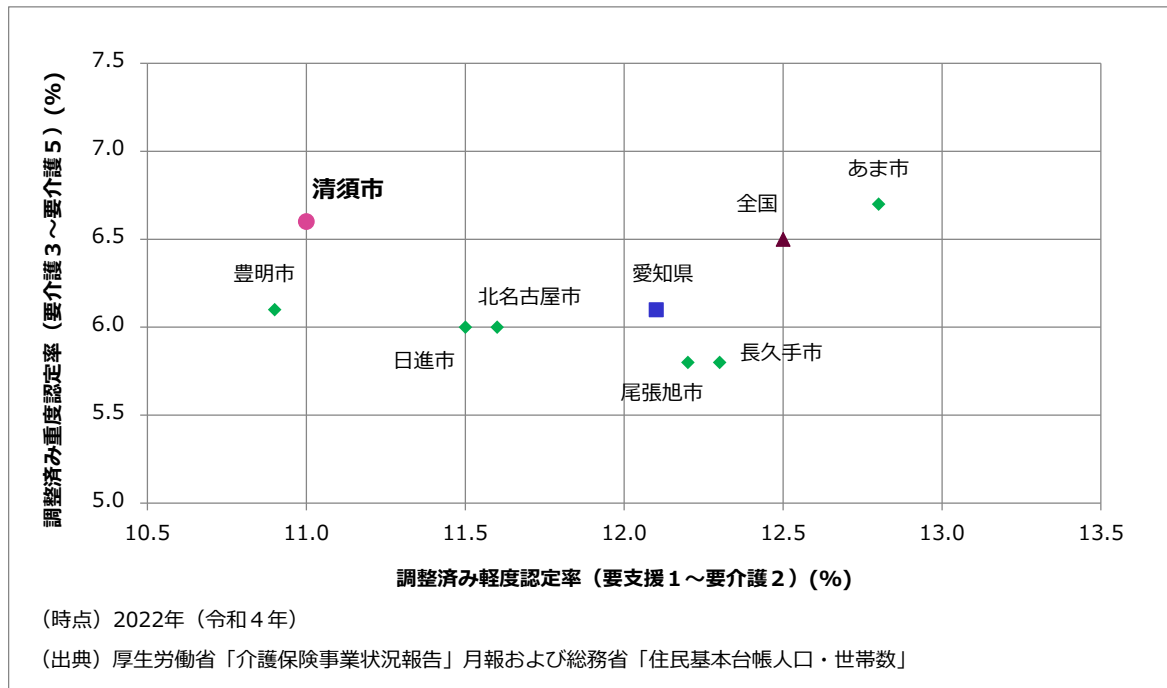


(出典)「介護保険事業状況報告」月報(各年9月末時点) 2023年のみ5月末時点

※認定者数は第2号被保険者を含まない。

調整済み軽度認定率[※]と調整済み重度認定率の分布を他の地域と比較すると、市の軽度認定率は豊明市より高く、国・県及び他の周辺市より低くなっています。一方、重度認定率はあま市より低く、国・県及び他の周辺市より高くなっています。

図表 軽度認定率と重度認定率の分布<国・県・周辺市との比較>



※調整済み認定率：認定率に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率。ここでは2022年(令和4年)時点の全国平均の構成と同様になるように性・年齢調整を行い、地域間での比較をやすくしている。

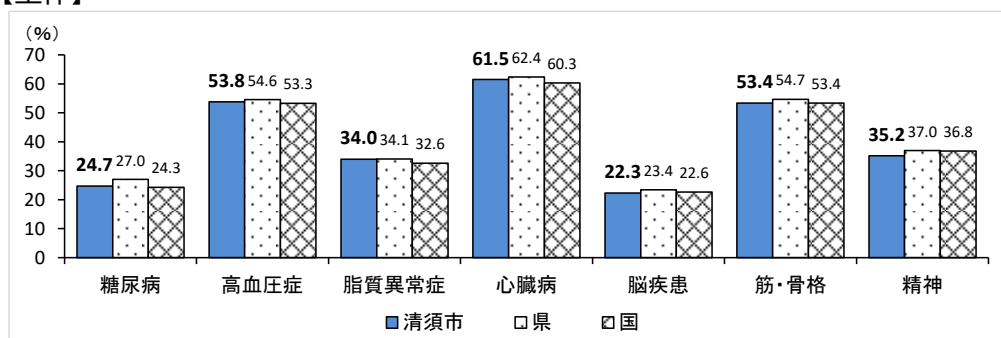
2-3 有病状況

本市の要介護認定者の2022(令和4)年度の有病率をみると、心臓病が61.5%、高血圧症が53.8%、筋・骨格が53.4%、精神疾患が35.2%、脂質異常症が34.0%等となっています。性別でみると、男性では心臓病、高血圧症、筋・骨格の順で高く、女性では心臓病、筋・骨格、高血圧症の順で高くなっています。

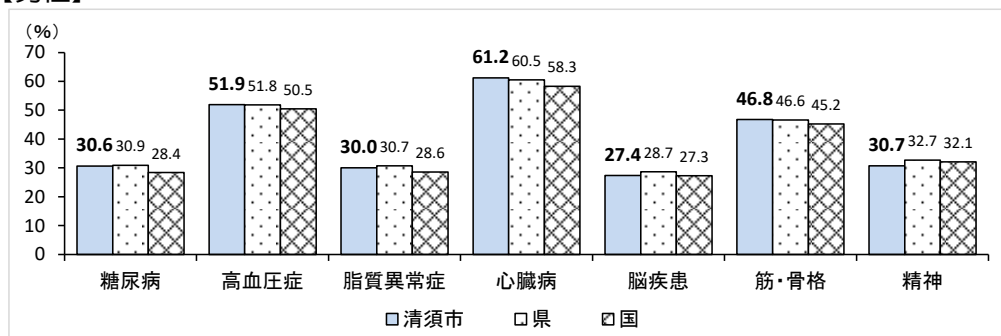
国・県と比較すると、これらの疾病の有病率はいずれも県より低く、脳疾患と精神の有病率は国より低くなっています。性別でみると、男性では心臓病、高血圧症、筋・骨格、女性では脂質異常症の有病率がそれぞれ国・県より高くなっています。

図表 要介護認定者の有病状況 (2022年度)

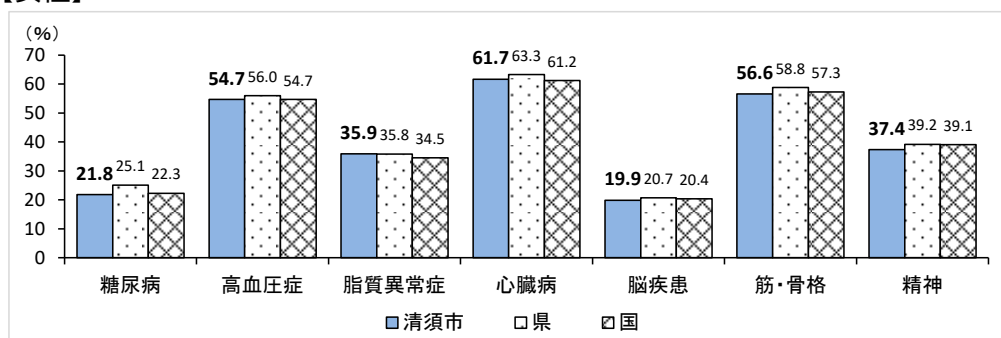
【全体】



【男性】



【女性】



(出典) 国保データベース (KDB) システム

第2章 高齢者を取り巻く現状と課題



3 介護保険事業の状況

3-1 介護サービスの利用状況

2022（令和4）年9月の受給者数をサービス類型別で見ると、2020（令和2）年に比べて在宅サービス受給者数は32人増加、居住系サービス※¹受給者数は3人減少、施設サービス※²受給者数は9人増加しています。また、認定者数※³に占める受給者の割合の推移をみると、いずれのサービス類型についても下降しています。

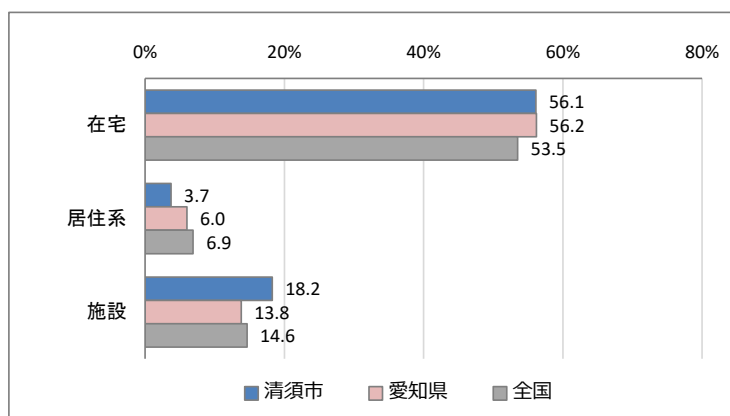
2022（令和4）年9月の市のサービス類型別の受給者割合を国・県と比較すると、在宅サービスについては国より高く県より低く、居住系サービスについては国・県より低く、施設サービスについては国・県より高くなっています。

図表 サービス類型別の受給状況の推移

		2020年	2021年	2022年
認定者数	(人)	2,593	2,650	2,685
受給者数	在宅 (人)	1,475	1,475	1,507
	居住系 (人)	103	108	100
	施設 (人)	481	492	490
認定者数に占める受給者の割合	在宅 (%)	56.9	55.7	56.1
	居住系 (%)	4.0	4.1	3.7
	施設 (%)	18.5	18.6	18.2

（出典）「介護保険事業状況報告」月報（各年9月末時点・9月利用分）

図表 サービス類型別の受給者割合＜国・県との比較＞

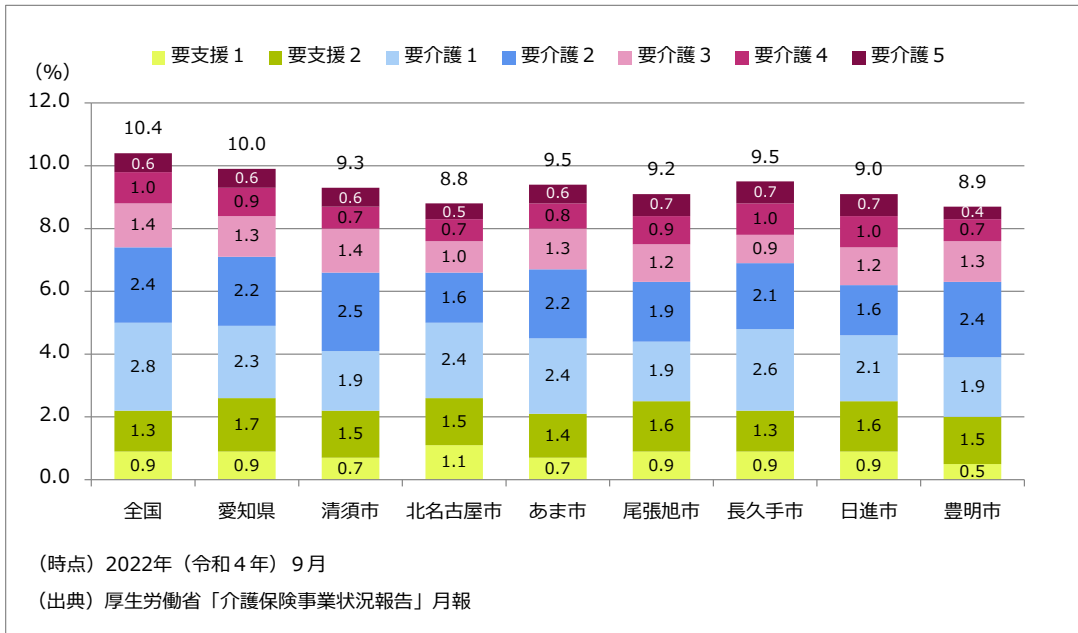


（出典）「介護保険事業状況報告」月報（2022年9月利用分）

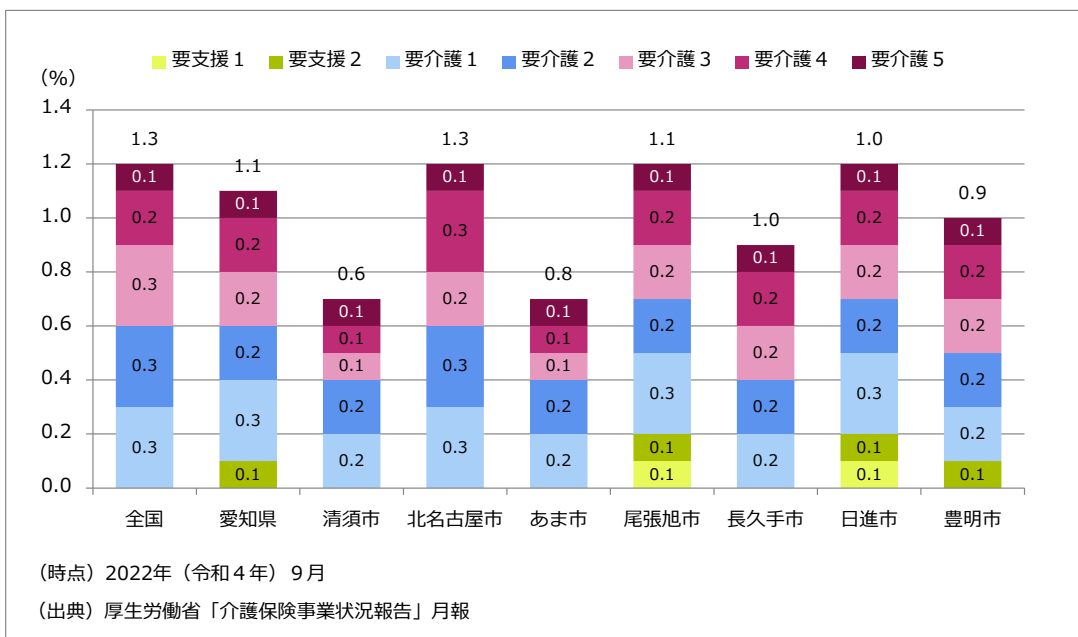
- ※¹ 居住系サービス：特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護
- ※² 施設サービス：介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院
- ※³ 認定者数は第2号被保険者を含む。

2022（令和元）年9月のサービス類型別の受給率（第1号被保険者数に占める各サービス受給者数の割合）を他の地域と比較すると、在宅サービス受給率は国・県・あま市・長久手市より低く、居住系サービス受給率は国・県・周辺市と比べて最も低く、施設サービス受給率は国・県・周辺市と比べて最も高くなっています。

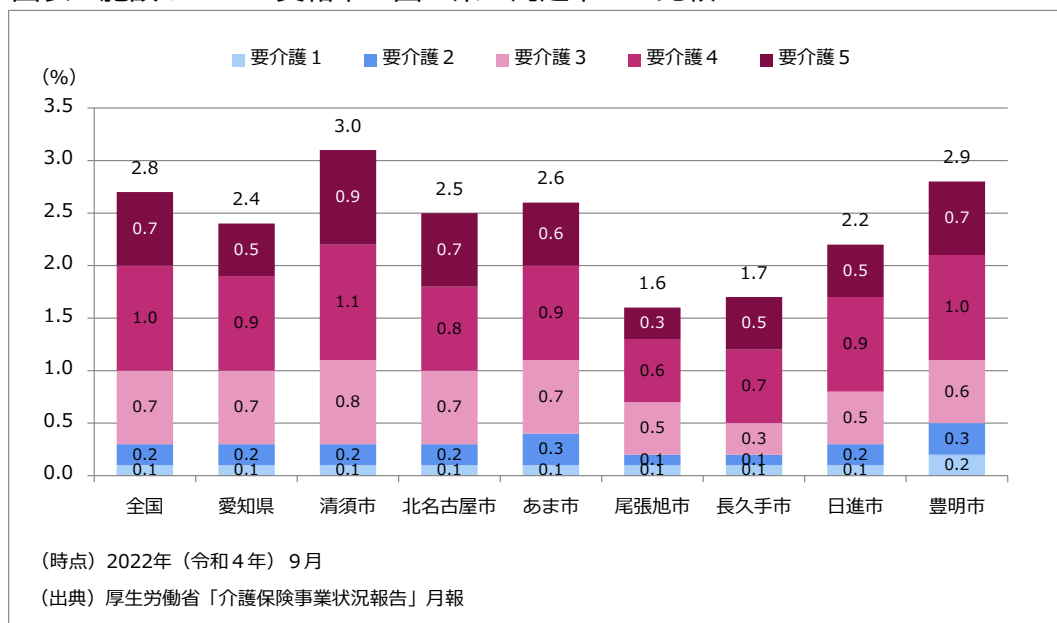
図表 在宅サービス受給率<国・県・周辺市との比較>



図表 居住系サービス受給率<国・県・周辺市との比較>



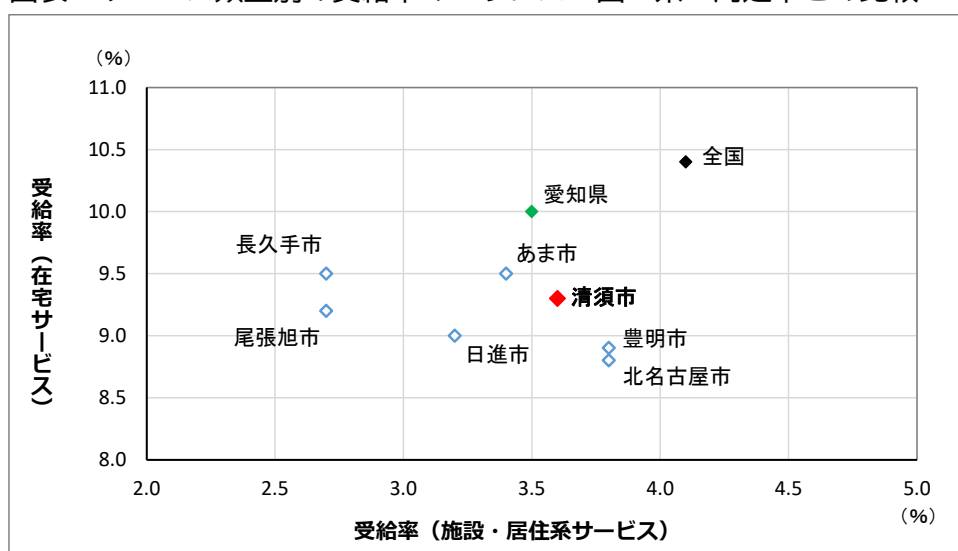
図表 施設サービス受給率<国・県・周辺市との比較>



3-2 サービス類型別の受給率のバランス

2022(令和4)年9月の市の在宅サービス受給率と施設・居住系サービス受給率のバランスを国・県と比較すると、在宅サービス受給率は国・県より低く、施設・居住系サービス受給率は国より低く県より高くなっています。周辺市との比較では、在宅サービス受給率は国・県・あま市・長久手市より低く、施設・居住系サービス受給率は国・北名古屋市・豊明市より低くなっています。

図表 サービス類型別の受給率のバランス<国・県・周辺市との比較>



(出典)「介護保険事業状況報告」月報(2022年9月)

3-3 給付費の推移

2022(令和4)年9月時点における給付費の総額は351,475千円となっており、2020(令和2)年(334,872千円)と比べて、16,603千円増加しています。サービス類型別で両年を比較すると、在宅サービスと施設サービスは増加し、居住系サービスは減少しています。

図表 給付費の推移 (千円)

	2020年	2021年	2022年
給付費(総額)	334,872	341,184	351,475
在宅サービス	181,971	180,201	195,202
居住系サービス	21,846	24,487	20,733
施設サービス	131,056	136,496	135,541

(出典)「介護保険事業状況報告」月報(各年9月利用分)

3-4 一人あたり給付月額状況

2020(令和2)年から2022(令和4)年の9月時点における市の給付費(在宅サービス費+居住系サービス費+施設サービス費)を、高齢者1人あたりの平均値にして国・県と比較すると、第1号被保険者1人あたりの給付月額は、国より安く、県より高くなっています。

要介護度2区分別で見ると、軽度認定者1人あたりの給付月額は国より高く、県より安くなっています。一方、重度認定者1人あたりの給付月額は、国・県より高くなっています。

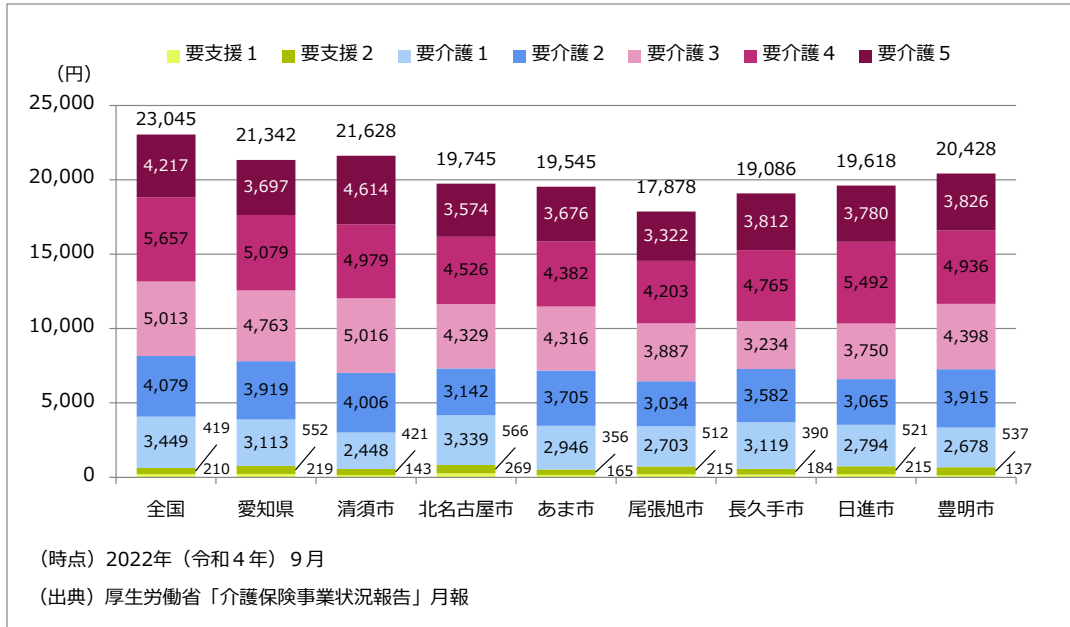
また、2022(令和4)年の第1号被保険者1人あたり給付月額を周辺市と比較すると、最も高くなっています。

図表 給付費水準の推移(国・県との比較) (千円)

	2020年	2021年	2022年	
第1号被保険者 1人あたり給付月額	清須市	20.6	20.9	21.6
	愛知県	20.6	21.0	21.3
	全国	22.6	23.0	23.0
軽度認定者(要介護2以下) 1人あたり給付月額	清須市	63.0	62.4	64.9
	愛知県	67.5	66.6	65.8
	全国	65.8	65.7	64.1
重度認定者(要介護3以上) 1人あたり給付月額	清須市	226.8	236.5	241.5
	愛知県	227.9	229.6	230.3
	全国	220.8	222.6	221.9

(出典)「介護保険事業状況報告」月報(各年9月利用分)

図表 第1号被保険者1人あたり給付月額（要介護度別）
 <国・県・周辺市との比較>

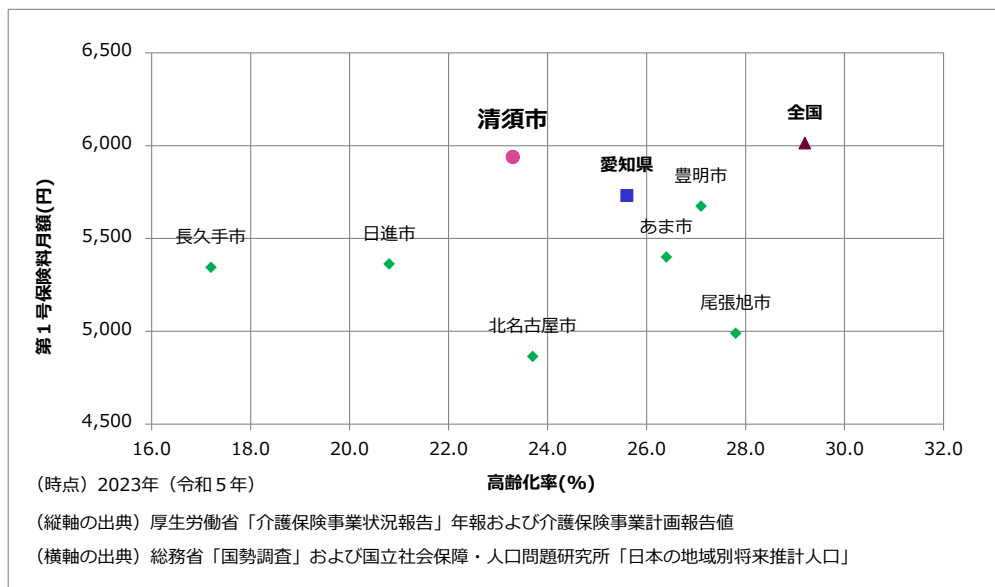


3-5 保険料基準額の水準

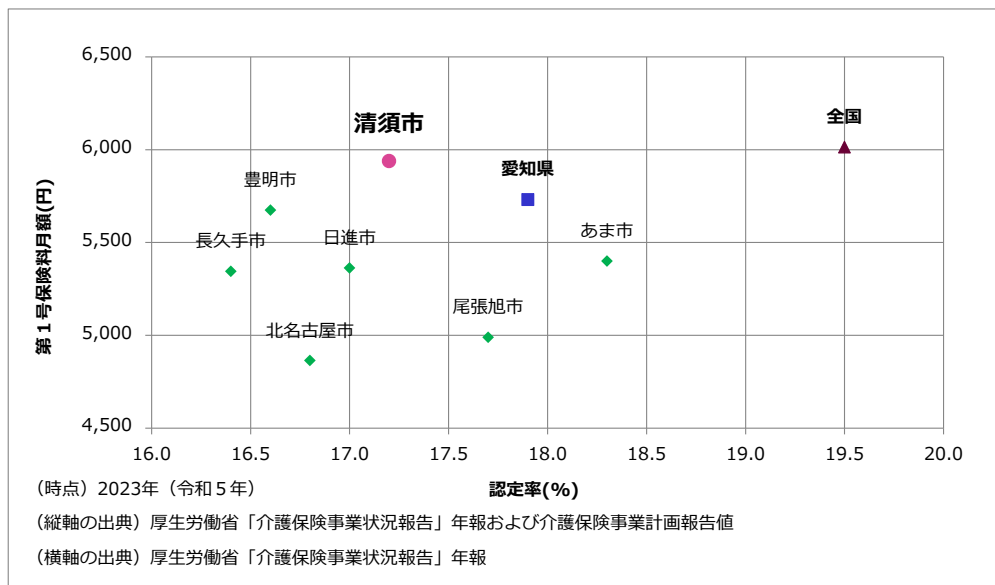
2023（令和5）年の高齢化率と保険料水準（第1号保険料月額）、要介護認定率と保険料水準の関係について、国・県及び周辺市の平均値と合わせて示したものが以下の図です。

国・県と比較すると、市の保険料基準額は国より安く県より高く、高齢化率と認定率はいずれも国・県より低くなっています。周辺市と比較すると、市の保険料基準額は最も高く、高齢化率は長久手市・日進市より高く、認定率は長久手市・豊明市・北名古屋市・日進市より高くなっています。

図表 高齢化率と保険料水準<国・県・周辺市との比較>



図表 認定率と保険料水準<国・県・周辺市との比較>





4 第8期計画の評価

4-1 主要5指標の評価

主要な5指標（第1号被保険者数、要介護認定者数、要介護認定率、総給付費、第1号被保険者1人あたり給付費）の実績及び対計画比をまとめると、以下の表のようになります。

対計画比をみると、2021（令和3）年度と2022（令和4）年度の第1号被保険者数では100%を若干超えているほか、居住系サービス給付費では両年度ともに90%未満となっていますが、それら以外の指標については90%以上100%以下の範囲内に収まっています。計画値と実績値の乖離は、2022年度の居住系サービス給付費（対計画比75.3%）で最も大きくなっています。

図表 5 指標の実績及び対計画比（総括表）

	計画値				実績値				対計画比（実績値/計画値）			
	第8期				第8期				第8期			
	累計	R3	R4	R5	累計	R3	R4	R5	累計	R3	R4	R5
第1号被保険者数（人）	48,786	16,260	16,243	16,283	32,572	16,321	16,251	-	66.8%	100.4%	100.0%	-
要介護認定者数（人）	8,192	2,650	2,736	2,806	5,335	2,650	2,685	-	65.1%	100.0%	98.1%	-
要介護認定率（%）	16.8	16.3	16.8	17.2	16.4	16.2	16.5	-	97.5%	99.6%	98.1%	-
総給付費（千円）	13,551,463	4,356,752	4,543,830	4,650,881	8,251,789	4,077,030	4,174,759	-	60.9%	93.6%	91.9%	-
施設サービス（千円）	5,206,854	1,699,172	1,753,841	1,753,841	3,312,990	1,643,988	1,669,002	-	63.6%	96.8%	95.2%	-
居住系サービス（千円）	1,014,853	306,636	353,210	355,007	536,289	270,338	265,951	-	52.8%	88.2%	75.3%	-
在宅サービス（千円）	7,329,756	2,350,944	2,436,779	2,542,033	4,402,509	2,162,704	2,239,805	-	60.1%	92.0%	91.9%	-
第1号被保険者1人あたり給付費（円）	277,774	267,943	279,741	285,628	253,340	249,803	256,892	-	91.2%	93.2%	91.8%	-

出典：計画値：「清須市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」

実績値：「第1号被保険者数」、「要介護認定者数」、「要介護認定率」は「介護保険事業状況報告」9月月報、「総給付費」は「介護保険事業状況報告」月報（3月利用分～翌年2月利用分の累計）

4-2 要介護認定者数及び認定率の評価

認定者数の実績をみると、対計画比は2021（令和3）年度で100.0%、2022（令和4）年度で98.1%と、いずれもほぼ計画値どおりとなっています。

要介護度別でみると、対計画比は要介護4が90%未満と低くなっており、特に2022年度では80%近くになっています。一方、要支援1および要介護1の対計画

比は、両年度とも計画値を5ポイント以上上回っています。

第1号被保険者数の実績は計画値と大差がないため、認定率の実績も計画値と大きな差がなく、2021年度は16.2%、2022年度は16.5%となっています。

図表 要介護認定者数・要介護認定率の実績及び対計画比

単位：人

	令和3年度			令和4年度		
	計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比
認定者数(第1号被保険者)(A)	2,650	2,650	100.0%	2,736	2,685	98.1%
要支援1	270	314	116.3%	277	296	106.9%
要支援2	460	449	97.6%	474	490	103.4%
要支援者 小計	730	763	104.5%	751	786	104.7%
要介護1	399	457	114.5%	412	434	105.3%
要介護2	493	461	93.5%	511	509	99.6%
要介護3	401	379	94.5%	419	379	90.5%
要介護4	387	342	88.4%	395	319	80.8%
要介護5	240	248	103.3%	248	258	104.0%
要介護者 小計	1,920	1,887	98.3%	1,985	1,899	95.7%
第1号被保険者数(B)	16,260	16,321	100.4%	16,243	16,251	100.0%
認定率(A/B)(%)	16.3%	16.2%	—	16.8%	16.5%	—

出典：計画値：「清須市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」

実績：「介護保険事業状況報告」月報（各年9月末時点）

4-3 サービス別給付費の評価

介護給付費の実績をみると、対計画比は2021（令和3）年度で93.4%、2022（令和4）年度で91.8%と、いずれも計画値を下回っています。

一方、介護予防給付費の実績をみると、対計画比は2021年度で101.5%、2022年度で96.2%と、2021年度では計画値を若干上回っています。

これらを合わせた総給付費の対計画比は、2021年度で93.6%、2022年度で91.9%となっており、いずれも計画値内に収まっています。

サービス別の給付費の実績をみると、対計画比が両年度とも110%を超えるサービスは、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、介護予防居宅療養管理指導、介護予防短期入所生活介護、介護予防福祉用具貸与となっています。

一方、対計画比が両年度とも80%未満であるサービスは、短期入所療養介護、地域密着型通所介護、介護予防訪問入浴介護（利用実績なし）、介護予防訪問リハビリテーション、特定介護予防福祉用具購入費、介護予防小規模多機能型居宅介護となっています。

図表 サービス別給付費の実績及び対計画比

【介護給付】

単位：千円

サービス	令和3年度			令和4年度		
	計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比
① 居宅サービス						
訪問介護	514,932	471,873	91.6%	522,449	518,328	99.2%
訪問入浴介護	28,524	30,311	106.3%	29,310	25,676	87.6%
訪問看護	124,332	132,717	106.7%	126,492	136,809	108.2%
訪問リハビリテーション	15,802	13,094	82.9%	16,775	10,767	64.2%
居宅療養管理指導	64,224	64,560	100.5%	66,314	69,499	104.8%
通所介護	650,294	560,753	86.2%	675,144	587,521	87.0%
通所リハビリテーション	127,741	114,848	89.9%	133,443	107,113	80.3%
短期入所生活介護	251,671	222,010	88.2%	254,652	219,615	86.2%
短期入所療養介護	4,535	1,888	41.6%	4,612	800	17.3%
福祉用具貸与	119,999	121,043	100.9%	123,649	124,932	101.0%
特定福祉用具購入費	4,709	4,738	100.6%	4,709	3,772	80.1%
住宅改修	13,281	12,612	95.0%	15,456	8,933	57.8%
特定施設入居者生活介護	175,863	160,922	91.5%	218,053	149,037	68.3%
居宅介護支援	209,376	202,827	96.9%	215,041	212,515	98.8%
② 地域密着型サービス						
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3,356	6,520	194.3%	3,358	6,717	200.0%
夜間対応型訪問介護	0	0	—	0	0	—
認知症対応型通所介護	1,095	0	0.0%	1,096	896	81.8%
小規模多機能型居宅介護	37,986	41,967	110.5%	57,906	45,853	79.2%
認知症対応型共同生活介護	125,068	106,441	85.1%	128,274	110,737	86.3%
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	—	0	0	—
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	—	0	0	—
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	—	0	0	—
地域密着型通所介護	78,409	55,891	71.3%	79,657	56,925	71.5%
③ 施設サービス						
介護老人福祉施設	1,041,774	1,018,946	97.8%	1,096,077	1,057,926	96.5%
介護老人保健施設	461,416	446,182	96.7%	461,672	447,435	96.9%
介護療養型医療施設・介護医療院	195,982	178,860	91.3%	196,092	163,641	83.5%
介護給付費計（Ⅰ）	4,250,369	3,969,006	93.4%	4,430,231	4,065,449	91.8%

【介護予防給付】

単位：千円

サービス	令和3年度			令和4年度		
	計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比
① 居宅サービス						
介護予防訪問入浴介護	428	0	0.0%	429	0	0.0%
介護予防訪問看護	15,630	16,373	104.8%	15,023	16,025	106.7%
介護予防訪問リハビリテーション	3,249	2,353	72.4%	3,250	1,555	47.8%
介護予防居宅療養管理指導	2,434	6,123	251.6%	2,566	5,515	214.9%
介護予防通所リハビリテーション	24,677	24,527	99.4%	25,185	22,788	90.5%
介護予防短期入所生活介護	586	2,519	429.8%	586	2,962	505.5%
介護予防短期入所療養介護	0	0	—	0	0	—
介護予防福祉用具貸与	14,427	15,883	110.1%	15,018	17,453	116.2%
特定介護予防福祉用具購入費	3,253	1,796	55.2%	3,253	2,270	69.8%
介護予防住宅改修	9,729	11,420	117.4%	10,683	10,471	98.0%
介護予防特定施設入居者生活介護	5,705	2,975	52.2%	6,883	6,178	89.8%
介護予防支援	18,635	19,207	103.1%	19,271	19,954	103.5%
② 地域密着型サービス						
介護予防認知症対応型通所介護	0	0	—	0	0	—
介護予防小規模多機能型居宅介護	7,630	4,849	63.5%	11,452	4,139	36.1%
介護予防認知症対応型共同生活介護	0	0	—	0	0	—
予防給付費計（Ⅱ）	106,383	108,024	101.5%	113,599	109,310	96.2%
総給付費（Ⅰ＋Ⅱ）	4,356,752	4,077,030	93.6%	4,543,830	4,174,759	91.9%

出典：計画値：「清須市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」

実績値：「介護保険事業状況報告」月報（3月利用分～翌年2月利用分の累計）

4-4 第8期計画の目標の達成状況

第8期計画の目標指標の達成状況は以下のとおりです。

①地域活動の活性化

指 標	指標の考え方	基準値	目標値	現在値 ^{※1}	達成 状況 ^{※2}
		2020 年度	2023 年度	2023 年度	
ソーシャルキャピタル得点<社会参加>	「ボランティア」、「スポーツ」、「趣味関係」、「学習・教養」、「特技や経験を他者に伝える活動」への参加頻度を得点化（点） 【アンケート調査 ^{※3} で月1回以上と回答した割合を計算式で算出】	51.4点	56.1点	39.7点	△

②介護予防事業の充実

指 標	指標の考え方	基準値	目標値	現在値 ^{※1}	達成 状況 ^{※2}
		2020 年度	2023 年度	2023 年度	
介護予防事業への参加	介護予防のための通いの場に参加している高齢者の割合（%） 【アンケート調査 ^{※3} で「介護予防のための通いの場に参加している」と回答した内、週1回以上と回答した割合】	5.0%	6.8%	5.2%	△

③認知症施策の推進

指 標	指標の考え方	基準値	目標値	現在値 ^{※1}	達成 状況 ^{※2}
		2020 年度	2023 年度	2023 年度	
認知症相談窓口の認知度	認知症に関する相談窓口を知っている人の割合（%） 【アンケート調査 ^{※3} で「はい」と回答した割合】	26.7%	40.0%	24.9%	△
認知症サポーター養成講座の企業への実施回数	企業への認知症サポーター養成講座の実施回数（回） 【過去3年間の累計回数】	9回	12回		

※1 現在値：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（2023年度）の結果もしくは同年の事業実績値

※2 ◎：達成、○：概ね達成、△：未達成

※3 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

④介護保険事業の円滑な運営に向けた取り組み

指 標	指標の考え方	基準値	目標値	現在値 ^{※1}	達成 状況 ^{※2}
		2020 年度	2023 年度	2023 年度	
要介護認定の適 正化	市職員による認定調査結果の点検実 施	全件実施	全件実施		
ケアプランの点 検	市内事業所に所属する介護支援専門 員が作成したケアプランに対する点 検の実施	1事業所 につき 2件	1事業所 につき 3件		
住宅改修等の点 検	住宅改修、福祉用具利用者に対する訪 問調査	各月1件	各月2件		
縦覧点検・医療情 報との突合	国保連委託により実施	全件実施	全件実施		
介護給付費通知	給付費通知：介護保険サービス利用者 に対して通知 説明文等の同封	年1回 実施	年1回 実施		

⑤ひとり暮らし高齢者対策

指 標	指標の考え方	基準値	目標値	現在値 ^{※1}	達成 状況 ^{※2}
		2020 年度	2023 年度	2023 年度	
ひとり暮らし高 齢者の幸福度	ひとり暮らし高齢者で現在の幸福度 が「6点」以上の人の割合 (%) 【アンケート調査 ^{※3} で現在の幸福度 が「とても幸せ：10点」～「とても不 幸：0点」とした場合】	73.8%	80.0%	64.4%	△

⑥高齢者の権利擁護への取り組み

指 標	指標の考え方	基準値	目標値	現在値 ^{※1}	達成 状況 ^{※2}
		2020 年度	2023 年度	2023 年度	
成年後見制度の 認知度	成年後見制度を知っている人の割合 (%) 【アンケート調査 ^{※3} で成年後見制度 の認知度について「よく知っている」 「だいたいの内容は知っている」と回 答した割合】	37.9%	50.0%	33.2%	△

※1 現在値：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（2023年度）の結果もしくは同年の事業実績値

※2 ◎：達成、○：概ね達成、△：未達成

※3 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

第2章 高齢者を取り巻く現状と課題



5 アンケート調査に見る高齢者の現状

5-1 介護サービスの利用状況

より良い高齢者福祉・介護保険・生活支援サービス等を提供するため、市民の意見や生活状態を把握し、2023（令和5）年度策定の「清須市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」に反映させることを目的として、下記の要領でアンケート調査を実施しました。

	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護実態調査	サービス事業者調査
調査地域	清須市内		
調査対象	65歳以上の市民（要介護認定者を除く）	要支援・要介護認定者（施設入所者を除く）	市内のサービス提供事業者
標本サイズ	4,100件	1,500件	75件
有効回収数 (有効回収率)	2,685件 (65.5%)	844件 (56.3%)	53件 (70.7%)
抽出方法	無作為抽出		全数
調査方法	郵送配布・郵送回収		
調査時期	2022（令和4）年12月		

※ アンケート調査の結果は、前回ご報告させていただいたとおりです。計画書への掲載原稿は、今後作成いたします。



1 計画の基本理念

基本理念

～地域で支え合い、健やかに自分らしく 安心して暮らせるまち 清須～

本市は、市の最上位計画である「清須市第2次総合計画」に基づき、誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちを目指しています。

同計画においては、高齢者福祉について、「市民一人ひとりが支え合い、福祉の担い手になるような地域づくりにより、高齢者が生涯現役として働き、暮らしていける元気なまち」になることを目指す姿として掲げています。こうした考え方は今後も変わるものではなく、引き続き本市の高齢者福祉のめざす姿であると考えられます。

2020年に始まった新型コロナウイルス感染症の流行を機に、交流や支え合いの考え方や方法は多様化してきています。感染症の流行に限らず、様々なリスクを踏まえた上での支え合いを推進し、だれ1人取り残すことなく地域で共に暮らしていくことができる社会の実現をめざしていく必要があります。

また、高齢者一人一人が、どのような心身の状態であっても尊厳のある暮らしができるよう、要介護状態や認知症に誰もがなり得ることを理解し、互いの状態を理解し合えることが望まれます。

このような考え方を踏まえ、本計画における基本理念を「地域で支え合い、健やかに自分らしく安心して暮らせるまち 清須」とし、高齢者施策を進めていきます。



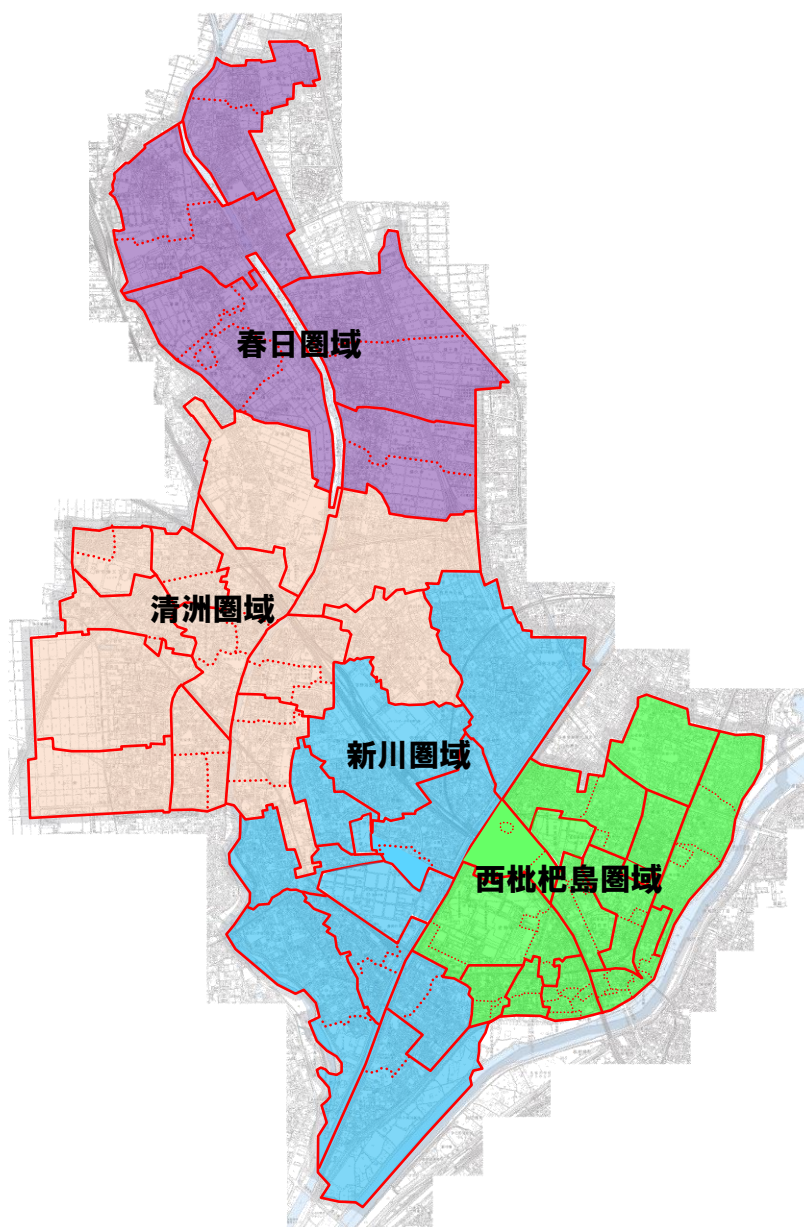
2 日常生活圏域と圏域別の現状

2-1 日常生活圏域の設定

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を継続することができるよう「日常生活圏域」を設定します。

本市の日常生活圏域は、第8期介護保険事業計画より4圏域（西枇杷島地区・新川地区・清洲地区・春日地区）としています。本計画においても以下のとおり4圏域とし、地域特性や資源等を有効活用し、問題の解決に取り組める「地域づくり」を促進していきます。

西枇杷島圏域
西枇杷島第1、西枇杷島第2、砂入、大和、六軒、日の出、花咲地領、松原、旭芳野、古城、二ツ杵、小場塚
新川圏域
新川第1、新川第2、新川第3、新川第4、外町、寺野、鍋片、新川第8、阿原
清洲圏域
清洲第1、清洲第2、西田中・弁天、朝日、一場、西市場1・2・3丁目、清洲第7、清洲第8、清洲第9、土田、上条、新清洲
春日圏域
落宮、春日運祢、春日西分新田、上中、春日南



2-2 圏域別の現状

※現在作成中です。



3 計画の基本目標と体系

3-1 計画の基本目標

基本目標1 ふれあいがあり、人にやさしいまち

基本目標1「ふれあいがあり、人にやさしいまち」では、高齢者の生きがいや居場所づくり、認知症高齢者などの見守りなどに、地域ぐるみで取り組むことをめざします。地域住民どうしのふれあいを大切に、やさしさを感じられる地域環境の中で、健康で暮らせる地域をめざします。また、近年、介護離職の問題やヤングケアラーなど、家庭介護者の負担が社会問題となっていることを踏まえ、必要な支援を検討していきます。

基本目標2 元気が出る健康なまち

基本目標2「元気が出る健康なまち」では、健康づくりや介護予防などにより、高齢者が健康で暮らせるまちをめざします。また、在宅医療・介護の連携にも注力し、住み慣れた自宅で長く生活できるまちをめざします。

基本目標3 安全で安心なまち

基本目標3「安全で安心なまち」では、要介護状態になることをはじめ、災害などのリスクがあっても自宅で安全に、安心して生活できるまちをめざします。また、地域包括支援センターにおける相談等の充実、認知症高齢者等の権利擁護への取組なども含め、高齢者の安心を支えます。

基本目標4 介護保険制度の円滑な実施

基本目標4「介護保険制度の円滑な実施」では、介護保険サービスの提供体制の充実・確保をはじめ、市の保険者機能の強化、給付の適正化などに取り組み、制度の円滑な実施をめざします。また、近年、介護サービス現場における人材不足が深刻な状態にあることを踏まえて、介護人材の確保、働きやすい環境づくり等への支援も検討していきます。

3-2 計画の体系

基本目標	施策の方向
<p>基本目標 1 ふれあいがあり 人にやさしいまち</p>	<p>1 高齢者の生きがい対策の推進・社会参加の促進 2 高齢者の見守り・地域支え合いの推進 3 認知症高齢者の支援体制の整備 4 通いの場の充実と参加の促進 5 多様な課題を有する家族介護者への支援</p>
<p>基本目標 2 元気が出る健康なまち</p>	<p>1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進 2 在宅医療・介護の連携 3 効果的な介護予防の推進</p>
<p>基本目標 3 安全で安心なまち</p>	<p>1 住み慣れた在宅生活への支援 2 安心・安全な住環境の整備 3 施設福祉サービスの充実 4 災害及び感染症対策への取り組み 5 地域包括支援センターの機能強化 6 高齢者の権利擁護</p>
<p>基本目標 4 介護保険制度の円滑な 実施</p>	<p>1 介護保険サービスの充実 2 保険者機能の強化 3 介護費用の適正化 4 介護人材の確保と働きやすい環境づくりへの支援</p>

(注)

- 赤文字で記載した部分は、新計画における追加検討項目（案）です。